

令和3年度生徒指導サポート実践校 「特別活動の取組事例」

学校名	東広島市立磯松中学校	校長	郷地 忠幸	生徒指導主事	占部 智之
-----	------------	----	-------	--------	-------

取組事例名	『体育大会～異年齢集団での活動～』
-------	-------------------

取組における育てたい資質・能力					
-----------------	--	--	--	--	--

人間関係形成		社会参画		自己実現	
「コミュニケーション能力」	1	「主体性・積極性」	2	「課題発見・解決力」	3

取組のねらい					
--------	--	--	--	--	--

○体育大会を通して、異年齢集団での活動を行い交流することにより、上級生のリーダーシップの育成を図るとともに、コミュニケーション能力や協働する力、主体性・積極性を育む。

取組の具体的内容	取組の創意工夫 『キーワード・交流』
----------	-----------------------

○本校では3学年縦割りで赤・青・緑の3つの団を編成し体育大会を行っており、種目は学年種目、団対抗の選択種目、表現種目がある。学年種目では、同団の応援やアドバイスを行い、団対抗の選択種目では作戦、練習など上級生がリーダーシップを発揮している。



○伝統を受け継ぐためにそれぞれが置かれた状況や立場で交流することにより、多様な経験ができる。他者とコミュニケーションを図る中で認められ自己有用感を高めることができ、主体性や積極性を育むことができる。

○表現種目では1, 2年生では地域の伝説をもとに作成された「雷神」と「大蛇」がそれぞれ小学校区に分けて踊っている。その中で、2年生は1年生の指導を主体的に行い、伝統の継承を行っている。3年生は最上級生として表現種目の集大成である「磯松ソーラン」を発表し、その姿は下級生の憧れの姿となっている。



取組の成果と課題

○縦割りの異年齢集団の活動を仕組むことで、上級生がより自分の事として主体的に活動に参加することができた。学校評価アンケートの「体育大会、文化祭などの行事に主体的に取り組んでいる。」という質問への肯定的回答は3年生が93.1%で最高となっている。